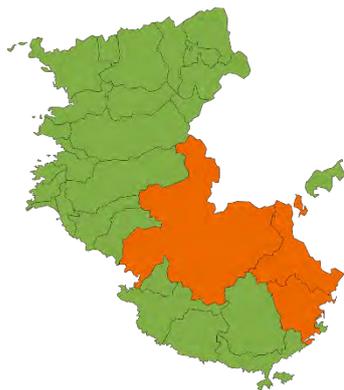


和歌山県新宮市、田辺市、東牟婁郡那智勝浦町

世界遺産登録 20 周年イベント

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を学び、

熊野を盛り上げよう。



【活動の基本情報】

参加学生数: 5 名

(1 年生: 2 名、2 年生: 2 名、3 年生: 1 名)

活動期間: 2023 年 6 月～2025 年 1 月

担当教員: 佐野楓

1. 活動実施の経緯

令和 3 年度の熊野三山観光者調査によると、若年層 (18～34 歳) は全体の 3.7% しか訪れていなかった。そこで、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が 2024 年 7 月 7 日に登録 20 周年を迎えるにあたり、若年層をターゲット

に 20 周年を盛り上げる事業の立案・運営に取り組んでほしいという依頼を受けた。

2. 活動の内容

今年度は立案された「まちあるきマップ」と「デジタルスタンプラリー」の実施に加え、Instagram や TikTok の運営、チラシの作成やラジオ、テレビの出演といった広報活動とといった取り組みを進めた。

また、2 月には SNS のインサイト分析や参加者アンケート結果を基に、関係者に向けた成果報告会を行い、事業の成果と熊野三山の今後の展望についても考察した。

3. 活動を通じて

前年度が企画立案、今年度がパンフレット等の制作と SNS 運営という計画であったが、京産大、和大大ともにメンバーが大幅に入れ替わり、また今年度の活動が 5 月からという比較的早い段階から始動したため、引継ぎや今年度のスケジュール作成が活動と並行しての取り組みとなってしまった。当初の目標は達成することができたが、2 力年計画ということもあり、1 年目の時点でもう少し詳しく予定を組んでおくべきだったと感じた。

4. 成果ポスター

和歌山大学×京都産業大学×熊野三山観光協会



熊野三山LPP

T2310067 西田 かのん
T2310045 高原 優那
27161051 佐々木 そら
T2410068 西浦 詩呼
T2410100 南畑 義明

2024.5~2025.2

概要

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が2024年7月7日に登録20周年を迎えるにあたって、熊野三山(新宮市・田辺市本宮町・那智勝浦町)で行う事業の企画・実施を熊野三山観光協会と京都産業大学と連携して取り組んだ。前年度は現地学習を通じて世界遺産に対する理解を深め、地域事業者との交流等を通じて地域課題を理解し、若年層をターゲットに20周年を盛り上げる事業を立案した。今年度は立案された「まちあるきマップ」と「デジタルスタンプラリー」の実施に加え、InstagramやTikTokの運営。チラシの作成やラジオ、テレビの出演といった広報活動といった取り組みを進めた。また、2月にはSNSのインサイト分析や参加者アンケート結果を基に、関係者に向けた成果報告会を行い、事業の成果と熊野三山の今後の展望についても考察した。

Topic 01 主な取り組みについて

現地実習 5月25日(土)~26日(日)田辺市本宮町
6月1日(土)~2日(日)新宮市・那智勝浦町

- ・アクティビティ体験
- ・地元の事業者さんへのインタビュー
- ・写真撮影

→スポットの概要やまちあるきマップの材料集めを行った

まちあるきマップとデジタルスタンプラリー
→まちあるきデジタルスタンプラリーへの参加方法の周知+熊野三山内の周遊促進

- ・大学生目線でスポットを紹介・大学生目線でスポットを紹介
- ・QRコードから各観光地の情報がすぐ手に入る
- ・一目でスポットの位置が分かる
- ・世界遺産から地域の人に愛されるお店まで幅広く紹介
- ・寄り道スポットと題し、町の風景も紹介





開催地：熊野三山エリア（本宮町、新宮市、那智勝浦町）
開催期間：2024年7月7日（日）～11月30日（土）
対象スポット：寺社、飲食店等の36スポット

Topic 02 広報活動

インスタ投稿・広告

熊野三山観光協会の公式アカウントである「熊野エリア観光推進実行委員会 (@kumano.wakayama)」の投稿内容を7月～11月末まで学生が作成した。イベントの周知だけでなく、インサイト分析などを通じてマーケティング活動にも活かすことができた。また、リアル動画を6つ投稿し、そのうち2つに3万円ずつ広告費をかけた。

【投稿内容】

- ・各スポットの紹介
- ・おすすめグルメやスイーツ、温泉
- ・寄り道スポットの紹介
- ・インタビューの内容まとめ

Topic 03 ラジオ・テレビ・チラシ

その他の広告活動

- テレビ・ラジオ出演
 - 7月7日と7月10日にFM TANABEに出演
 - 9月26日にNHK和歌山「ぎゅぎゅっと和歌山」
 - 10月9日にNHK「おはよう関西」
 - 10月11日にテレビ和歌山、わくわく編集部出演
- チラシ配布場所
 - ・阪急百貨店「食祭テラス」
 - ・新宮駅・紀伊勝浦駅
 - ・名古屋観光センター・和歌山市観光交流センター
 - ・阪急ビッグマン前観光PRイベント
- TikTok運営
 - 「熊野三山エリアを盛り上げたい大学生」というアカウントを立ち上げ4つの動画を投稿

【投稿内容】
熊野三山エリア全体の紹介+スポットツアーの宣伝
各エリアの紹介




Topic 04 成果と今後の展望

今後の展望

既存顧客を拡大する方法は？ 若者を呼び込むためには？

ターゲット顧客の把握

- ・現在最も多い年齢層は45～64歳で層分けをまとめている
- ・主な移動手段は自家用車
- ・那智古道目当てで訪れることが多い

懸念点

- ・計画外の整備や案内が不十分
- ・バリアフリー化の推進
- ・多言語への対応

幅広い媒体での広報活動

フォロワー数とリーチ数の増減

開始時：2728 → 終了時：3270



アンケート結果(参加者の年齢層)

45-54歳	25.2%
35-44歳	10.8%
25-34歳	18.9%
18-24歳	3.6%
55-64歳	28.8%
65-74歳	9.9%

今年7月10日のアンケート結果は、2024年7月のアンケート結果と比べて、25-34歳の割合が増えている。

今回の目標

1. ツアー参加者数 1000人
結果：611人
未達成
- しかし、SpotTourを用いたデジタルスタンプラリーの平均参加者数である500人を超えることができた。
2. 若年層(18-34歳)3.7%を上回る
結果：全体の23.5%
達成

しかし、あくまで参加者アンケートの結果であり、回答者数がR3年度の調査に比べて少ないため結果については一考の余地がある。

4. 2024 年度合同活動報告会の実施

2) 発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

和歌山県新宮市、田辺市、東牟婁郡那智勝浦町

テーマ:世界遺産登録 20 周年プレイベント

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を学び、熊野を盛り上げよう。

●報告について

報告会では、今年度の取り組みである「パンフレット制作・デジタルスタンプラリーの実施・公式 Instagram の運営」に加え、その他の広報活動やアンケート・SNS インサイト分析による成果と今後の展望について発表した。

質疑応答では質問は出なかったが、その後の交流会では学生や関係者の方々から労いの言葉や感想をいただいた。また、成果ポスターをじっくりご覧になる方も多く見受けられた。

前年度と比べてメンバーが 10 名以上減少したこともあり、一人ひとりの活動量が増えていたが、その分、熊野三山観光協会の方々や京都産業大学の学生の皆さんとの連帯意識も強まり、メンバー全体のアントレプレナーシップも醸成された 1 年になったと考える。